

卒業研究(Graduation Thesis)

担当教員名	E 全	
学科・専攻, 科目詳細	電気情報工学科 電気電子工学コース 5年 通年 9単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 演習系	
学習・教育目標	共生システム工学	B-3(10%) D-3(15%) E-1(10%) F-1(15%) G-2(30%) H-1(20%)
	JABEE基準1(1)	(d)(e)(g)
科目の概要	4年生までの学習成果および課題研究で得た基礎知識をもとにして, 研究課題における問題点を理解・分析し, 適切なアプローチによって自主的かつ継続的に問題を解決することができること。また, 論文, 発表によって研究成果を的確に他人に伝えることができること。	
テキスト(参考文献)	必要に応じて, 指導教員が配布する。	
履修上の注意	研究成果について指導教員と頻繁に議論すること。 卒業研究の時間に研究が行えない場合は, 担当教員の許可を得た上で, 他の時間への振り替えを行うこと。	
科目の達成目標	(1)工学の基礎知識を応用・統合して自ら研究課題を設定するとともに, 広い視野から体系的・実践的に問題を発見・解決手できる能力(F-1, G-2)。 (2)データ処理技術及び情報伝達の理論・手法を修得し, 種々の設計や理論解析に応用できる能力(H-1)。 (3)継続的に物事を探求する生涯自己学習能力及び創造性(D-3)。 (4)研究課題に関連した和文及び英文の技術論文が読め, それらを理解し, 自己の研究に活用できる考察力。 (5)得られた研究成果を技術論文としてまとめるための文章表現力及び口頭で他者に伝え, 討議することのできるコミュニケーション能力(B-3, E-1)。	
自己学習	目標達成のためには, 卒業研究の時間以外での研究への取り組みが不可欠である。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	その他
	目的達成度の評価は, 研究の取り組みの評価(10%), 中間発表会での評価(20%), 卒業論文の評価(50%), 卒業研究発表会での評価(20%)を総合する。 研究の取り組みは, 研究ノートをもとにして, 研究時間, 研究に対する姿勢, 研究の理解度などについて, 指導教員が10点満点で評価する。中間および卒業研究発表会では, ポスターやOHPの見栄え, 研究課題における問題点の理解および分析, 研究課題に対する適切なアプローチなどについて, 発表会に参加した全教員が20点満点(レジュメ:10点, 発表:10点)で評価し平均する。 卒業論文は, 論文構成, 研究課題における問題点の理解および分析, 研究課題に対する適切なアプローチ, 独創性, 視野の広さなどについて, 指導教員および指導教員以外の教員の2名が50点満点で評価する。以上を総合し, 60%以上取得した者を合格とする。ただし, 各項目で60%未満の評価がある場合, 学科会議で審議するものとする。審議の結果次第では, 論文再提出・再発表等によって60%未満の評価の項目について再評価を行うこともある。 また, 研究取り組み時間が202.5時間未満の場合, 評価の対象としない。	
連絡先	ohmukai@akashi.ac.jp, narieda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	卒業研究 指導教員の下で，研究に取り組む．
第2週	同上 同上
第3週	同上 同上
第4週	同上 同上
第5週	同上 同上
第6週	同上 同上
第7週	同上 同上
第8週	同上 同上
第9週	同上 同上
第10週	同上 同上
第11週	同上 同上
第12週	同上 同上
第13週	同上 同上
第14週	同上 同上
第15週	同上 同上
期末試験実施せず	

授業の計画・内容	
第16週	同上 同上
第17週	同上 同上
第18週	同上 同上
第19週	同上 同上
第20週	卒業研究中間発表 これまでの研究成果をポスター形式で発表する(11月実施予定)。
第21週	卒業研究 指導教員の下で、研究に取り組む。
第22週	同上 同上
第23週	同上 同上
第24週	同上 同上
第25週	同上 同上
第26週	同上 同上
第27週	同上 同上
第28週	卒業論文の執筆 卒業研究の成果をまとめ、卒業論文を執筆する。
第29週	同上 同上
第30週	卒業研究発表会 OHPまたはプロジェクタを用いて、卒業研究の成果を口頭で発表する。
期末試験実施せず	